

## 次号予告

### 特集 流通の今日的課題と展望

流通ネットワークとCALS .....	江原 淳 (専修大学)
流通における地図データベース活用の現状と課題 .....	平下 治 (ジェー・ピー・エス)
10年後の小売業態予測 .....	大久保恒夫 (リテイル・サイエンス)
商圈分析モデルの現状と課題 .....	佐藤栄作 (流通経済研究所)

### 解説 OR研究の最前線(3)

マルコフ連鎖とそのORへの応用 .....	木島正明 (筑波大学)
-----------------------	-------------

**編集後記**●今月号の特集は、OR 誌としては初めて一つの企業の事例を集中して取り上げました。業務の流れが一目で理解できるという点で、このような企画はかなりいけるのではないかと自画自賛しています。今回は、世界のトヨタの生産システムについて詳しく解説をいただきました。乾いた雑巾を絞るような効率化に学ぶところが多いのではないのでしょうか●昨年の総選挙で単独政権を樹立した自民党の課題は、行政の効率化です。単に省庁を再編成するのではなく、トヨタの生産システムに習って、大胆にリエンジニアリングを行っていただきたいものです。それにしても、大蔵・厚生をはじめとする官僚の不祥事は彼らが権限を持つことに由来しており、そもそもは規制を前提とした許認可権や管理・監督権に問題があり、それゆえに規制緩和が声高に主唱されるのではないのでしょうか。今や、世間の論調は規制緩和=正義という図式ですが、

川崎市では大型小売店が出店を計画する際の環境評価を強化しようとしているという記事を昨年目にしたことがあります。規制緩和に逆行する傾向があり、如何かという懸念もあります。近隣の中小小売店の利益を保護するだけなら問題でしょうが、実際には大型店ができるとその周辺は違法駐車と放置自転車の山になり、中には他人の敷地内に車を止める輩まで現れる始末。ところが警察に言っても、私有地を不正占拠する自動車は道路交通法では取り締まれないから、駐められた方は事実上泣き寝入り。こういうことではいけないので、規制をかけることは必ずしも悪ではなく、規制の価値を社会厚生的な立場から評価すべきでしょう。LPでは、規制(制約)の価値(価格)をシンプレクス乗数で評価できるのではないですか! 21世紀のORに期待しましょう。(山上 伸)

## オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

**委員長** 逆瀬川浩孝(早稲田大学) **副委員長** 山上伸(東京ガス(株)), 山下勝比掬(株東芝), 大山達雄(埼玉大学)  
**委員** 伊藤裕康(株富士通研究所), 上田徹(成蹊大学), 葛山康典(早稲田大学), 國澤直樹(東京電力(株)), 栗田治(慶応義塾大学), 佐賀井重雄(株電力中央研究所), 外嶋成留(住友金属工業(株)), 田口東(中央大学), 田中宏和(さくら総合研究所), 中里宗敬(青山学院大学), 西尾チヅル(筑波大学), 水野眞治(統計数理研究所), 矢島安敏(東京工業大学), 山下英明(駒澤大学)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成9年2月号 第42巻 第2号 通巻434号

代表者 刀根 薫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 逆瀬川 浩孝

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円(本体922円, 郵送料含) 年間予約購読料10,800円(税・郵送料含)

### ●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337), 日経弘報社(3563-2241)へ